

新年のあいさつ

まなだけ会 会長 富田 哲夫

あけましておめでとうございます。

令和初のお正月、皆さまには、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、まなだけ会の活動に対しまして、深いご理解と格別のご支援、ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

『当地区でも少子高齢化が進む』

◆出生数、昭和二年の三分の一以下に！

全国の出生数は、昭和二年（1947年）が、約二百六十七万九千人、平成元年（1989年）が、約百二十四万七千人、令和元年（2019年）は、約八十六万四千人で、昭和二年の三分の一以下となっている。※当地区も同様の傾向と推定されます。）

上加賀田地区の高齢化（平成30年データ）

六五歳以上が二〇九人（高齢化率43%）
七五歳以上が一〇四人（21%）

『昨年は亥年』亥年は、何かが起きる？・・起きた…。

京都アニメーションの放火殺人事件、沖縄首里城の火災、台風一五・一九号の被災：等々一方、令和への改元や茨城国体等、明るい話題もあった2019年でした。

当地区においても、台風一九号により、大日堂へのアクセス道路の法面約七〇mが崩壊し、二月には復旧工事に着手すると聞いております。

瀬沼川も当地域内で、越水がありました。被害はなかったとのことでした。

『上加賀田地区自主防災会』

区が主体となって、既に「上加賀田地区自主防災会」を立ち上げており、台風一九号の際は、緊急会議（昨年十月十二日十五時）を開催し、ハザードマップのエリア六家族に対し、避難所（公民館）を開放している旨、及び通行障害（倒木等）の除去対応（次頁に記載）などについて、連絡した経緯があります。

（避難者はなく、安堵したところであります。）

なお、自主防災会の規約・ハザードマップ等、詳細については、周知徹底を図るべく、鋭意整備中であります。

※参考…「猪年の災害・事件」（およそ10～12年ごとのサイクル??）

大正十二年（1923年）関東大震災

昭和 十年（1935年）静岡中部地震

昭和二年（1947年）カスリーン台風

昭和三四年（1959年）伊勢湾台風
昭和四六年（1971年）十勝沖地震
昭和五八年（1983年）大韓航空機墜落事件、三宅島噴火
平成 七年（1995年）阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件

『備えあれば憂いなし』

近年では、全国的に想定外の自然災害が多くなっており、「備えあれば憂いなし」の心構えが大切であります。

有事の際の自助・互助・共助・公助の役割を分担することを基本とし「上加賀田地区自主防災会」の運用により、安心・安全な暮らしが期待されます。

◆昨年の台風一九号による、道路への倒木の除去作業が、迅速に対応（早朝から待機）できたことは、自主防災会の体制・機動力（互助・共助の精神）によるものであると思っております。

チエンソー等片手に、早朝から、即対応され大変お疲れさまでした、感謝申し上げます。

※被災の程度によりますが、従来であれば道路管理者（公助）へ通報する等から時間が…

『野生動物による人的被害も』

当地域でも、人を襲う等、猛威を奮っているイノシシ、そしてハクビシン、スズメバチ等、また、今後、侵入が懸念される？アライグマ（常総市で猛威）キョン（千葉県の一部で猛威）など、農産物の被害の他、家屋に入り込む・住み込む等、生活を脅かしている報道があります。安心・安全な地域維持のためには、公的支援の他に「当地域としても、何をすべきか・何ができるか等」模索する段階にきているのかな？、と思っているところでもあります。

『区役員の選出見直し』 選出仕方の見直し

現在、八六区、公民館、他五団体等の役員等は一九名が担っております。
更には、充て職（兼任）を含め、延べ三六名が、その職に当たっている。

日頃からの声かけ等、ご理解・ご協力をお願いしてきたところですが、近年の社会情勢等からか？、その選出が大変厳しいのが実態であります。

《この現状を、よく受け止めて頂ければと、思っているところでもあります。》

《後継者の推薦そして互選》「令和二年一月二六日会議開催」

◆「各地区の幹事組合長からの推薦→互選により決める。」

これまでも、これからも、八六区・公民館・まなだけ会が三位一体となり、更には、各団体との連携を深め、少しでも地域へ貢献していく認識には、変わりはないと思っております。（一蓮托生の精神で…）

今年は、十二支最初の干支ネズミ年、地区の皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい、そして災害がない一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

（以上、一役員としてのコメント及び個人的見解を含む。悪しからず）